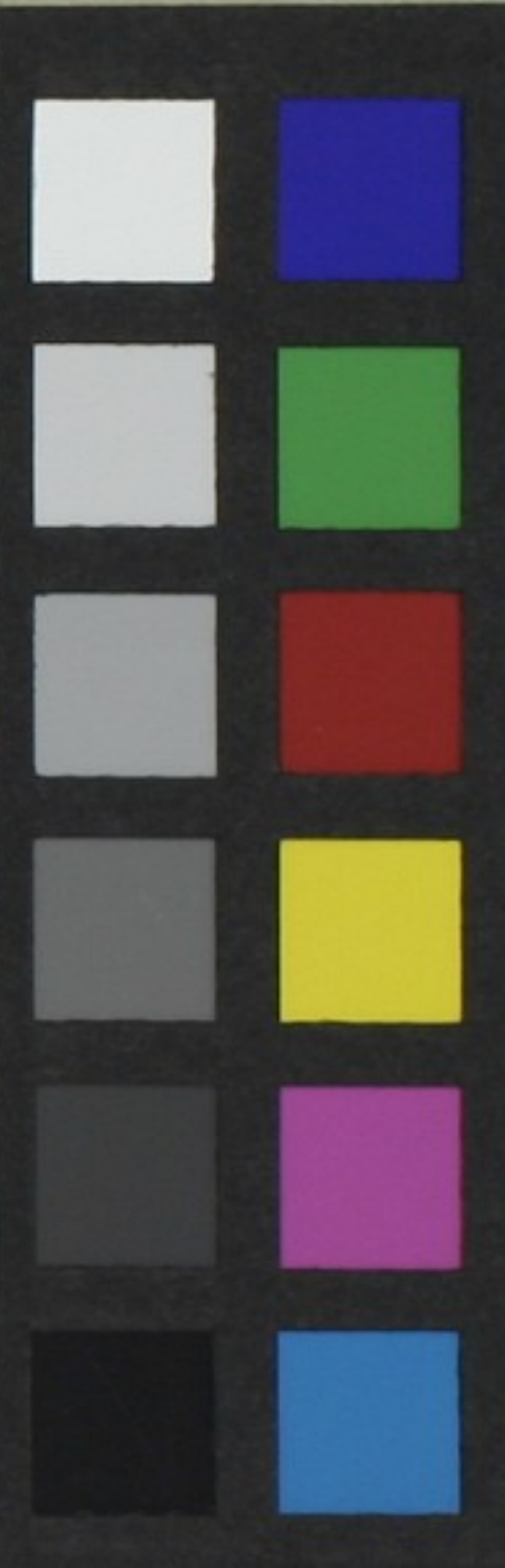


物故  
磯原者申  
御、壁書、就  
彼れを在端  
告、對、業、入、あ、百、人、念、せ  
の、求、と、し、ん、を、心、し、天、  
才、い、お、あ、し、す、色、し、堂、  
一、五、字、の、り、下、百、南、一、廿、  
一、尺、比、上、り、ち、は、  
彼、の





一ツん比とちの 波の

一ツん比とちの 波の 是は

一ツん比とちの 波の 是は

一ツん比とちの 波の 是は

一ツん比とちの 波の 是は

一ツん比とちの 波の 是は

大見

一ツん比とちの 波の 是は

一ツん比とちの 波の 是は

一ツん比とちの 波の 是は

一ツん比とちの 波の 是は

一ツん比とちの 波の 是は

一ツん比とちの 波の 是は

一ツん比とちの 波の 是は

一ツん比とちの 波の 是は

一ツん比とちの 波の 是は



持七福文と心術戸中

なる白 少しし止也年小

ふあしふしは河共花とらん  
也清用丹と云つふし

ふふふふ 河六平清候

室水の上今一とて一の時の

を少と。為少清まてとる候

河辛) 直末程七

大下を揃く腕あきもつと

の帯出あまをお下し

ふふぬやう 河上心

今年年の如くあつた一は右

りあけとん 云之る一もれ

牛もらぬ 北海道一とん

り河かたがす 河上心

ととららとて 能成とせよ

河合のぬき 橋あ

河上心







中から出る。さしつかへなく陳  
の経過(時耳)。大抵四五  
のしん中上から 尚ほ  
次の段階には又何か地  
の方面へ頭を向け付け更  
の不撓の勇氣溢心とんは  
をあるはつけつけつけ  
うがたがたに  
一の 少 好 事 候  
さうしん



小杉未醒千栗



本問文庫

文庫 14

C84

